

## 8.14 公共交通へのアクセシビリティ

## 8.14.1 調査事項

調査事項は、表 8.14-1 に示すとおりである。

表8.14-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	・ 関連車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度
予測条件の状況	・ 関連車両の走行の状況 ・ アクセス経路における歩車動線分離の状況
ミティゲーションの実施状況	・ 都として、公共交通機関からの計画地までの歩行者動線を適切に確保する。 ・ 計画建築物の建設に伴い、周辺道路の歩道を整備し、海の森大橋北側付近の交差点に歩行者用信号、横断歩道を設置することを、都として調整する。

## 8.14.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

## 8.14.3 調査手法

調査手法は、表 8.14-2 に示すとおりである。

表8.14-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項		関連車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度
調査時点		東京2020大会の開催後(2021年度)とした。
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2021年11月、2022年1月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2021年11月、2022年1月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2021年11月、2022年1月とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	予測した事項	現地調査(写真撮影等)及び公共交通関連資料の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び公共交通関連資料の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び道路地図の整理による方法とした。

#### 8.14.4 調査結果

##### (1) 調査結果の内容

##### 1) 予測した事項及び予測条件の状況

##### ア. 関連車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセシビリティの変化の程度

公共交通機関から海の森水上競技場までのアクセス経路としては、図8.12-1(p.134参照)に示したとおり、都営バス(波01系統)環境局中防合同庁舎前バス停から東西水路沿いの一般道路を利用する経路がある。

海の森水上競技場北側では臨港道路中防内5号線が2020年度より供用されており、東西水路沿いの一般道路と海の森大橋北側付近で交差しているが、歩行者用信号機及び横断歩道が設置されており、一般道路の歩行者動線を阻害しないよう配慮されている。

したがって、車両の走行に伴い、公共交通からの歩行者動線が阻害されることはなく、海の森水上競技場へのアクセス所要時間に大きな変化は生じない。

このことから、車両の走行に伴うアクセシビリティの変化は小さいと考える。

## 3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.14-3 に示すとおりである。なお、公共交通へのアクセシビリティに関する問合せはなかった。

表8.14-3 ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・都として、公共交通機関からの計画地までの歩行者動線を適切に確保する。
実施状況	<p>都として、公共交通機関からの海の森水上競技場までの間には、歩道と車道を、縁石ブロック及び横断防止柵によって分離させることにより、歩行者動線を適切に確保した。</p>  <p>縁石ブロック、視覚障害者誘導用ブロック等</p>
ミティゲーション	・計画建築物の建設に伴い、周辺道路の歩道を整備し、海の森大橋北側付近の交差点に歩行者用信号、横断歩道を設置することを、都として調整する。
実施状況	<p>計画建築物の建設に伴い、周辺道路の歩道を整備し、海の森大橋北側付近の交差点に歩行者用信号、横断歩道を設置した。</p>  <p>海の森大橋北側付近の交差点に歩行者用信号</p>

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 関連車両の走行に伴う会場から公共交通機関までのアクセス性の変化の程度

公共交通機関から海の森水上競技場までのアクセス経路としては、都営バス（波 01 系統）環境局中防合同庁舎前バス停から東西水路沿いの一般道路を利用する経路がある。

海の森水上競技場北側では臨港道路中防内 5 号線が 2020 年度より供用されており、東西水路沿いの一般道路と海の森大橋北側付近で交差しているが、歩行者用信号機及び横断歩道が設置されており、一般道路の歩行者動線を阻害しないよう配慮されている。

したがって、車両の走行に伴い、公共交通からの歩行者動線が阻害されることはなく、海の森水上競技場へのアクセス所要時間に大きな変化は生じない。

このことから、車両の走行に伴うアクセス性の変化は小さいと考える。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致する。